

【審議内容】

令和6年度花巻高等看護専門学校自己点検・自己評価の結果と、教員アンケート結果に基づき、この度、全学年で低評価が多かった項目（質問1、2）、複数の学年で低評価が多かった項目（質問3～6）について、現状の確認と原因の分析をおこない、今後の対応、対策を検討した。

質問1：

アンケート Q33「学校と保護者の連携がとれている。」について。

回答：

これまでは、年に一度保護者会を開催していた。しかし、それだけでは不十分な事例についての個別対応は、人員不足により困難であった。現在人員体制を変えているところであり、今後、希望する学生、家庭には十分な対応を提供できると考えている。

質問2：

アンケート Q40「私はこの学校に入学して良かったと思っている。」について。

回答：

前項質問にも関連するが、これまで学校側が十分な個別対応をできていなかったことに對する不満が、このような評価につながったと分析している。今後、個別対応に時間を割くことにより、改善すると考えている。

質問3：

アンケート Q19「教員と指導者は指導の方向性が一致していた。」について。

回答：

指摘の通り、連携がとれていない場面を学校側は確認している。今後教員と指導者との協力体制を改善する予定である。

質問4：

アンケート Q20「指導者の行動や態度から看護師としてのあり方を学べた。」について。

回答：

実習機関に申し入れを行うことで、改善する予定である。

質問5：

アンケート Q26「学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行っている。」について。

回答：

これまでの学校の方針を変更することで改善する予定である。具体的には、制服の廃止に伴う服飾の乱れなどについて、服飾規定を設ける等の対応を考えている。

質問6：

アンケート Q38「学校は、学生の気持ちを尊重してくれている。」について。

回答：

質問1、2とも関連する項目である。これまで個々の学生の話聞く機会が少なかった事による不満の現れと分析している。今後人員体制を変え、個別対応に時間を割くことによって改善すると考えている。

その他の検討事項：

現行のアンケート内容では、組織の問題点が十分に見えない可能性がある。より本質的な問題点を可視化するために、より分析的な質問事項を加えるなどアンケート内容に工夫が必要であると考えている。さらに、現行では教員側のアンケート回答率が低く、十分な精度が得られていない可能性がある。今後、より精度の高い動向調査をするため、回答率を上げることが課題であると考えている。

多くの他看護養成機関が存在する現状において、優秀な学生の十分数の確保が喫緊の課題である。そのために県内の高校訪問を行っている。このような活動を継続することで、優秀な入学者の獲得につなげたい。

#### 【総括】

以上、検討したすべての項目について、学校側は問題点を分析したうえで現在改善に取り組んでおり、今後改善するものと期待される。

以上